

「魚の観察」の紹介

◎「魚の採集」と「魚の観察及び解説」の約60分の学習

- * 準備物：タオル，ぬれてもよい靴，替えの靴，場合によって着替え，夏期は水筒，帽子。
- * これまでの実施場所：土浦市田村地区（自然再生事業B地区），かすみがうら市戸崎（ウェットランド）稲敷市和田公園，行方市ふれあいランド付近，堤脚水路等
- * 交通手段：センター所有の40人乗りバス（無料）が利用できます。
- * 定員6人乗りと4人乗りのボートによるボート乗船体験を行うこともできます。（救命胴衣あり）
- ▲採集した魚等は，原則として持ち帰ることはできません。

1 簡単な「魚の解説」と「魚の採集方法」の説明（魚の観察資料）参照）

「魚の観察をとおして，霞ヶ浦の環境を考えよう」

魚観察資料

一生霞ヶ浦にいる魚

流入河川

魚

茨城県霞ヶ浦環境科学センター
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

無印：在来魚 明治時代より前からすんでいた魚
[国内]：国内外来魚 他国から来た魚
[国外]：国外外来魚 外国から来た魚

※ 外来魚は在来魚とエサを争みかねる害いらいを犯し、生態系を変えるなどの問題を起こしています。

コイ 【コイ科】 全長100cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。繁殖期は1年間のほとんどを過ごす。

キンブナ 【コイ科】 全長100cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ギンブナ 【コイ科】 全長200cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

シラウオ 【シラウオ科】 全長10cmほど。肉食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

アサヒレタビラ 【コイ科】 全長100cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ヤリタナゴ 【コイ科】 全長100cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ワカサギ 【ワカサギ科】 全長4cmほど。肉食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ガンゴウブナ 【コイ科】 全長40cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

マナマズ 【コイ科】 全長200cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ヌマコ 【コイ科】 全長100cmほど。雑食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

ドジョウ 【ドジョウ科】 全長10cmほど。肉食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

モツゴ 【コイ科】 全長8cmほど。肉食性。繁殖期で、雌が卵を産みつけてから、雄が卵を保護し、稚魚の目を保護して育てる。

コイを例に魚の体を観察しましょう。



たも網による魚の採集

・参加者の皆さんには、1人1本のたも網で魚を採集して頂きます。場所や時期にもよりますが、例えばスジエビやテナガエビ、そしてヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、フナなどが捕れます。

投網による魚の採集

・7月21日から1月20日のワカサギが漁獲解禁時期には、投網で魚を採集することもできます。

2 魚の採集

たも網・投網による魚の採集



3 魚の解説・学習のまとめ

採集した魚をもとに解説

・採集した魚をもとに解説を行います。
・ヌマチチブのおなかには吸盤があることやタナゴは2枚貝の中に卵を産むことなどの興味・関心を高める内容です。

魚と水質や生きものつながり

・水質の変化によって減った魚や増えた魚、湖での生きものつながりを考え、環境保全の態度を養います。

水産資源としても重要な魚たち

・ヌマチチブなどのハゼの仲間、テナガエビなどの川エビは、佃煮として私たちの食料となっています。

魚の観察でよく採集されるもの



スジエビ



ヌマチチブ



モツゴ

全長8cmほどである。水質汚濁への適応力が高い。雑食性である。



タイリクバラタナゴ

全長6-8cm。アジア大陸東部と台湾原産。オスは鮮紅色の婚姻色を呈す。



ゲンゴウブナ

全長40cmほど。本来は琵琶湖の固有種。植物プランクトンを食べる。